

気管支ぜん息

Q1: ゼイゼイ、ヒューヒューしたらぜん息ですか? (年代区分: ②、③、④)

A: 1回のゼイゼイ・ヒューヒューではぜん息の診断にはなりません。しかし複数回繰り返す場合は、ぜん息の可能性がります。

解説: 乳幼児は、年長児と比較して気管支が細く痰などの分泌物の量も多いため、呼吸器感染症（急性気管支炎や急性細気管支炎など）でもぜん息と同様にぜん鳴（ゼイゼイ、ヒューヒュー）を呈することがあり、ぜん息の診断は容易ではありません。風邪を引いた時などに胸からゼイゼイ、ヒューヒューという音が聞こえたり、息をするのが苦しそうになったりというエピソードを3回以上起こしたことがある、あるいはそのような症状が気管支拡張薬の吸入で改善する場合には、「乳幼児ぜん息」と診断されます。また、ぜん息の長期管理薬（ロイコトリエン受容体拮抗薬や吸入ステロイド薬）を1か月ぐらい服薬して、その効果で判断する場合があります（「診断的治療」と言います）。

参考資料:

- ・環境再生保全機構 「小児ぜん息の基礎知識」 赤ちゃんぜん息
▷ <https://www.erca.go.jp/yobou/zensoku/basic/kodomonozensoku/akachan.html>
- ・環境再生保全機構 「小児ぜん息の基礎知識」 もしかしてぜん息? <検査や診断>
▷ <https://www.erca.go.jp/yobou/zensoku/basic/kodomonozensoku/kensa.html>

Q2: 風邪を引くたびに咳が長引くのですが、ぜん息でしょうか?

(年代区分: ②、③、④)

A: ぜん息の可能性がありますが、他の疾患でも同様の症状を呈することがあります。

解説: 風邪を引くたびに咳が長引く場合にはぜん息の可能性がありますが、鼻副鼻腔炎（黄色や緑色のねばった鼻汁）や胃食道逆流（食後に動くと咳がひどくなる）などでも同様の症状が出現することがありますので、医療機関への受診を勧めましょう。